

- ◆ 環境省は、インド住宅都市省及び国際連合地域開発センター(UNCRD)との共催により、平成30年4月10日～12日にインド(インドール市)において、「**アジア太平洋3R推進フォーラム第8回会合**」を開催。(環境省からは、伊藤環境副大臣らが出席)
- ◆ 「3Rと資源効率性を通じたきれいな水、土地、大気の実現—アジア太平洋地域の21世紀ビジョン」を全体のテーマとして、アジア・太平洋各国を中心とする**40か国の政府、国際機関、民間企業など700名超の参加**を得て議論を実施。また、サイドイベントとして、アジア市長間政策対話や国際展示会、アジア3R市民社会イベント等が開催され、我が国の地方自治体や民間企業、NGOも参加。
- ◆ 我が国が中心となってアジア・太平洋地域の3Rに関する情報をとりまとめた「**アジア太平洋3R白書**」を**発表**。また、アジア市長間政策対話に参加した市長・地方政府等が「**インドール宣言**」を採択。

## 【議論された分野】

- ①3Rときれいな水—水質汚濁低減における循環経済の役割
- ②3Rときれいな土地—土壌汚染対策における循環経済の役割
- ③3Rときれいな大気—大気汚染対策における循環経済の役割
- ④沿岸及び海洋生態系保護のための3R
- ⑤中小企業の取組と国全体の生産性—循環経済の役割
- ⑥資源の安全保障と3R技術
- ⑦3Rに対するファイナンス—国内及び国際的投資



伊藤環境副大臣による開会挨拶

【次回会合】 タイ・チェンマイで開催予定(時期未定)

# 世界循環経済フォーラム2018(WCEF2018)



- ◆ 2018年10月22日-23日、横浜(パシフィコ横浜)において、環境省とフィンランド政府イノベーション基金SITRA(シトラ)との共催で、世界循環経済フォーラム(WCEF2018)を開催予定。
- ◆ 政府、産業界、市民団体、国際機関などから1000名が参加予定。「循環経済(サーキュラー・エコノミー)」に関する世界中のベストプラクティスの紹介や、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた循環経済の役割等について議論を行う予定。

## 【日程及びプログラム(案)】

10月22日	オープニング: 2050年に向けた循環ビジョン			
	中小企業の事例	都市における循環経済促進	循環型社会形成に向けた日本の取組	産業分野における循環戦略
	全体会合: 循環経済の経済的便益、社会的包容力および貧困撲滅			
10月23日	全体会合: 循環経済による持続可能なライフスタイルと消費者のための問題解決			
	循環経済に向けた教育	グローバルバリューチェーンと循環経済	海プラスチックゴミ問題の循環経済による解決	循環経済形成のためのファイナンスとインパクト投資
	エネルギーと気候変動問題の解決に向けた循環経済	自動車革命と循環経済実現に向けた未来の輸送	循環経済と地方の活性化	IT技術と循環経済
	クロージング: 循環経済に向けたコミットメントと国際協力			